

整形外科に通院中の（または過去に通院・入院されたことのある）
患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 関節リウマチ手に対する人工MP関節置換術の治療成績

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 河村 太介（整形外科・助教）

[研究の目的] 関節リウマチは自己免疫の異常を背景に全身の関節に炎症が生じる疾患です。特に手指は関節リウマチによる滑膜炎の好発部位であり、なかでも手の中手指節（MP）関節が侵されると、掌側脱臼や尺側偏位が生じ手の機能は著しく障害されます。MP 関節が破壊されてしまった場合、人工関節置換術が行われます。人工関節の中でもシリコン製のインプラントが現在でも多く使用されていますが、関節可動域の改善が見込めないこと、インプラントの破損による症状再燃などの問題点があります。当科では、それらの問題点を解決するため表面置換型の人工関節（FINE total finger system）を使用してきました。本研究の目的は表面置換型の人工関節である FINE total finger system を用いた、関節リウマチ手に対する MP 人工関節置換術の臨床成績、合併症を調査し、その有用性を検討することです。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2010 年 9 月から 2015 年 7 月までの間に北海道大学病院整形外科にて、関節リウマチによる手の MP 関節障害に対して人工関節置換術を受けた方

○利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、関節リウマチ治療歴、関節可動域、握力、つまみ力、画像診断結果、合併症、アンケート結果

[研究実施期間] 実施許可日～2018年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせするこ

とができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院整形外科 担当医師 河村 太介

電話 011-706-5937 FAX 011-706-6054